

会員数	35,790	(前月比) +145
郵送	8,631	(前月比) + 81
手配り	24,933	(前月比) + 64
協同基金到達額	2,455,853,000円(8/31現在) [前月比 23,692,000減]	
協同基金出資者数	12,485名(8/31現在)	
いのちを守る助け合い募金額	29180円(8/1~31)	



発行
健康友の会 みみはら
民医連 本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0824
堺市堺区老松町2丁58-1
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860

1部30円



向ヶ丘支部の世話人さんたち

友の家「ほっこり」 向ヶ丘支部 開所式



あいさつする武本支部長

9月1日(火) 友の家「ほっこり」の開所式。自分たちの友の家を持ちたいという支部世話人の強い思いの中で、友の家「ほっこり」が誕生しました。上野芝向ヶ丘町(2丁1-7)に古くからある2階建てで、近所には魚屋、電気屋、理美容店、惣菜屋、カラオケ店などがある住宅地の一軒です。

降る中、二雨宿りをしながら何度か何人も人に聞いてやってきましたよ」と、徒歩で自転車、1人で2人で4人連れで、と参加して下さる方。町会の自治会長、役員さん、駐車場を貸して下さったお向かいの方、「何か手伝うことはありませんか」と会員さん。50人近くの方の参加で開所式は大盛況の中で、無事終えることができました。

地域の皆様方の交流の場になり、健康で安心して住み続けられるまちづくりの一助になればと向ヶ丘支部は力を尽くします。
(武本 利治)



鮮やかなのれんが目印

健康友の会みみはら2020年の姿

- ▶健康友の会みみはらは、要求をもとに地域の人々とつながって、健康で生き生きとくらするまちづくりの推進役となっています。
- ▶同仁会グループと健康友の会みみはらは、くらしを支える医療・介護・福祉の重要な担い手として成長し、地域から信頼される存在になっています。
- ▶健康友の会みみはらは、堺市・高石市・和泉市・松原市のすべての行政区に支部を誕生させ、ブロックごとに会員比率を高める目標を設定しています。
- ▶健康友の会みみはらは、誰もが健康で平和にくらする社会の実現に向けて、幅広い人々との連帯・連携の輪をひろげています。

- ① 現在3万5千世帯を超える友の会の仲間をもっと増やそう。
- ② 『ともし』の配達や支部・班の運営に協力してくれる「担い手」さんをもっと増やそう。
- ③ 「みみはら協同基金」を増やそう。
- ④ 健康づくりに欠かせない特定健診・大腸がん検診を広げよう。
- ⑤ 健康づくり・まちづくりに役に立つ『いつでも元気』をさらに増やそう。などの目標をもって取り組みます。

医療や介護の崩壊が進むなかで、私たちのまわりには必要な医療や介護、支援が受けられない人たちがいます。社会保障制度のさらなる改悪のなかで、さらなる多くの「医療難民」「介護難民」が生まれかねません。こうした状況だからこそ、私たちは今まで以上に、まちづくり・健康づくりをすすめる、ひとりぼっちをなくす取り組みを進めます。「健康友の会みみはら」を地域にしっかりと根を張った、より大きな組織にすることが必要です。

また、今年4月に総合病院「医療ゾーン」の建設が終了し、これから「地域交流ゾーン」の建設が始まります。地域の財産であり、助け合いや支えあいの共同の皆である耳原総合病院が来年5月にはフルオープンし、新しい病院に生まれ変わります。この大事業を成功させるためにも、地域での展開をめざしている介護事業所建設を成功させる上でも「健康友の会みみはら」を



参加者の前であいさつする森島会長

健康友の会みみはらは同仁会などとともに、9月3日、友の会世話人と職員64人が参加し、10月から11月にかけて共同組織拡大・強化「月間」を取り組むことを確認しました。

2015年度 共同組織拡大強化「月間」
ご協力をお願いします

地域に役に立ち、要求にこたえられる友の会を

聴診器

四天王の中に多聞天という仏がいます。釈迦の道場を守り仏法を多く聞くことから名づけられたようです。四天王として安置される場合が多門天で独尊としてまつられる場合は毘沙門天と名付けられています。毘沙門天といえば戦いの神としてのイメージが強いですがもともとインドでは財宝の守護神であったものが日本に伝来する中で戦いの神との位置づけが生まれたようです。多くを聞くことと闘いのイメージは全く相いれないのですが変化とは不思議なものです。▼戦争法案の国会での様子を見ていると多門天には申し訳ありませんが多聞天(毘沙門天)が頭に浮かんできました。(聞くことと闘いだけからの強引な連想ですが)国民の声を聞くといながら、誤解だ・国民の命を守るのが政治だと戦争ができる日本へと自公政権は舵を切ろうとしています。聞くことと理解することは違つたんです。聞くだけ聞きました。あとは我々の言うことを聞きなさい、聞かなくても60日ルールがありますといわんばかりの態度です。▼8月30日、国会前には12万人が集まり全国各地でも数十万人が声をあげました。その後ろには何倍もの人々の声があります。きちんと国民の声を聞き言葉を理解できる政治を作る必要があります。(三宅徹也)